

世界から核兵器をなくすために

組合員活動推進学習会
6月19日

2010年5月に、NPT（核不拡散条約）再検討会議がニューヨークで開催され世界の国々が核軍縮にむけて話し合われます。組合員活動委員会では、2009年度の組合員活動のスタートとして、広島平和文化センター理事長のスティーブン・ロイド・リーパーさんを招いて学習会を行いました。

リーパーさんは、「いま、核兵器を廃絶するの、核兵器を全世界が持つのかの岐路に立っている。2010年のNPT再検討会議はその行く末を決める重要な機会。そして、廃絶の力ぎを握っているのは日本。アメリカに新大統領が誕生し希望がある今こそ、経済に深く関わっている日本が親友として「廃絶を」と言える立場であり、外圧をかけることができるパワーを持っている。そして、その日本の政治家を動かす『力の源』になるのが署名の力。100万人をめざし、生協でとりくむ署名をより多く集めることが非常に重要」と話されました。

参加者は、一人ひとりの力が集まれば世界も動かし、核兵器をなくすことができる」と確信。「まずは7月3日のピースリレーでアピールしましょう」と司会からの呼びかけに、大きな拍手で応えました。



広島平和文化センター理事長 スティーブン・ロイド・リーパーさん

参加者の感想

暴力（核兵器）をコントロールするために、私たち一人ひとりができることもある（声をあげる・署名）と聞けて、ホッとすると同時に、本当に思っているだけでなく行動することが大切だと感じて身の引き締まる思いです。

スティーブン・ロイド・リーパーさん

プロフィール

1947年米国イリノイ州出身。被爆体験証言通訳や広島記念資料館の資料の翻訳などのほか、平和市長会議などの活動、全米原爆展なども指揮されています。

日本は平和のリーダーという言葉に「ハッと」しました。“何でもいから皆の啓発”本当にそうだと思います。

来てみて。行ってみよ。パルコープのお店

「『こんにちは』『お久しぶりですね』って組合員さんにはいつも声をかけるようにしています。近所の魚屋さんみたいだね」というのは職員の山下さん。「今日は何が入ってますとか、これだったら煮つけがいけますよ」ってその日の魚のおすすめをお話します。

また3人家族の組合員さんなら太刀魚を3つの切り身にしたら、しっぽの部分が小さくなるから「6つに切って、量を調整できますよ」って、自分が買い物する気持ちで組合員さんに接したいんです。

組合員さんの声 お魚コーナーが好きです。職員さんがよく声をかけてくれるから、気持ち良いんです。



星ヶ丘店 酒 P
枚方市星ヶ丘3-16-5
営業時間 9:00～22:00
☎ 072-847-5561 FAX 072-847-5562

商品を渡すときには「焼く前になんかとお塩ふってね」「ちよっと大きいです。残ったら照り焼きとか、蒲焼にしてください」のあいさつ最後まで食べていただく言葉を添えます。

奥の方からも職員の声がかかります。「お肉めいのかの足はもったいないから軟骨のところまで入れときますね」「ありがうござい」

今回の店舗の紹介は星ヶ丘店のお魚売り場です。ご紹介するのは朝10時あわただしい魚売り場。町の魚屋さんを思い出すような対面販売です。組合員さんに声をかけているのは職員の家形さん（いこよりどれにしましょ？「はらわたを」お掃除ときますね」「刺身にしますか？アブラはごっしましよ」）

「近所の魚屋さん」



星ヶ丘店の巻



地上デジタル放送でどう変わるの？

4月28日 福祉研究会学習会



音声で読み上げたり、点字をだしたりする受信端末（実用化に向けて開発中のもの）も体験

地デジを見るために必要なUHFアンテナ



- 地デジを見る方法
- ①地デジ対応テレビに変える
 - ②今あるテレビに地上デジタルチューナーをつなぐ
 - ※①②ともUHFアンテナが必要
 - ③ケーブルテレビに加入し地デジ契約する(UHFアンテナは不要)



2011年7月から、テレビ放送が「アナログ」から「デジタル」に移行され、今のままではテレビが見れなくなります。その特徴や、受信するために必要な準備、注意することなどを詳しく知りたいと、福祉研究会主催の学習会が総務省大阪府テレビ受信者支援センター次長・中野徳和さんを講師に迎え、行われました。聴覚・視覚障がい者の方も参加され、視覚障がい者の方には、研究会メンバーが事前に作成した点字の学習資料を準備、聴覚障がい者は、登録手話ボランティアによる手話通訳を通して学びました。

質疑応答のときに、「移行に対応できない人も取り残されないように放送する側も十分考慮してほしい」と声が出されました。

パルコープのグループを紹介します

パルコープでは、自主的・自発的にくらしのことを考えあう「場」として、5人以上の組合員が集まればグループとして登録し、活動することができます。現在、食の安全・平和・環境など35グループがあります。グループの活動について一部を紹介します。

グループ「食品表示ウォッチャーズ」

かしこい消費者をめざして

食品表示ウォッチャーズは、食品表示のウォッチングをきっかけにスタートしましたが、表示の事だけでなく、食生活や地球環境にまで関心を広げ、食料自給率を高める為の工夫や、フードマイレージ、バーチャルウォーターなど、食をめぐる様々な事柄について学習を進め、組合員さんへの情報提供や問題提供もあわせて行なっています。今年は、「食べ物を無駄にしない」をテーマに、地域の商品フェアなどで食品の期限表示（消費期限、賞味期限）の学習や、日常の食生活の問題点の見直しなどを通して、「かしこい消費者」になる為のお手伝いをさせて頂いています。



08年11月の「たべるたいせつフェスティバル」でフードマイレージの発表

グループ「ハーネス」

盲導犬との歩行体験をしました

3月28日忍ヶ丘店と4月25日つるみ店で盲導犬を伴った歩行体験学習を行いました。訓練の苦勞、犬の利口さ、犬にとって盲導犬になることの意味などのお話の後、実際にアイマスクをして歩行体験をしました。家族連れの方など約60人の参加があり盲導犬育成の理解が深められました。「盲導犬育成ボランティアの大切さを知った」「視覚障がいの方が盲導犬を持つことで世界が広がり、社会参加の第一歩になれば良いのに」などの感想がありました。



グループに関心のある方は
組合員活動サポートセンターへ

☎ 0120-299-244 FAX 0120-299-230
月曜・土曜 9:00～17:00 火～金曜 9:00～18:00